

会 議 録

会議の名称	令和元年度第1回行田市行政改革推進委員会
開催日時	令和元7月19日（金） 開会：午前10時00分　閉会：午前11時25分
開催場所	行田市役所 203会議室
出席者氏名	行田市自治会連合会 阿久津彰男委員、行田市男女共同参画推進審議会 大野久美子委員、行田市議会 香川宏行委員、行田市社会教育委員会 高橋榮美委員、行田市青年会議所 羽賀 烈委員、公募市民 宮田淑尚委員、行田市民生委員・児童委員協議会 茂木奈賀子委員
欠席者氏名	行田市商工会議所 大久保 毅委員、公募市民 政田光生委員
事務局	改革推進室：磯貝室長、酒井主幹、吉田主任、平林主任
会議内容	司会 酒井主幹 議事 (1) 行田市行財政改革プログラム平成30年度取組実績 (2) その他
会議資料	○次第 ○資料1 行田市行政改革推進委員会委員名簿 ○資料2 行田市行政改革推進委員会設置条例 ○資料3 行田市行財政改革プログラム平成30年度取組実績

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに委員に就任した香川委員と高橋委員を迎えての開催である。また大久保委員、政田委員から所用により本日欠席との連絡をいただいている。 ・委員会設置条例第5条の規定に基づき、会長に議事の進行をお願いする。
阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・暫時、議長を務めさせていただく。議事の円滑な進行に皆さんのご協力をお願いする。 ・会議の公開について確認させていただく。個人情報を取り扱う予定がないことから、本日の会議は公開とする。また、会議録については要点筆記とし、委員名を明記のうえ、市政情報コーナー及び市ホームページにおいて後日公開する。 ・議事の(1)「行田市行財政改革プログラム平成30年度取組実績」について、事務局の説明を求める。
事務局	<p>(資料3「行田市行財政改革プログラム（平成30年度取組実績）」により説明)</p>
阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいま事務局から説明があったが、内容についての意見や質問があれば発言いただきたい。
宮田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生の数からしても、小学校の数が多いと思う。 ・老人会など、補助金により成り立っている団体が多いのではないかと。本当に必要なものか見直しが必要である。
阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金については、交付を受けるために人数合わせをしている実態もあると考える。 ・公民館については、主に市民団体が利用しているが、利用者が偏っていると考える。もう少し一般市民にも利用してもらえよう改善すべきである。 ・公民館の実態として光熱費の支出が多い。現状の利用料では賄いきれていないのではないかと。利用料等の見直しを提案したい。

茂木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の問題はあるが、老人会の活動については、団体があるからこそ人が集まる機会が生まれている。老人会が無くなると高齢者が引きこもる傾向にあると思う。老人会に対する補助金は無くさないでほしい。 ・自治会所有の集会所の多くが老朽化している。高齢者への配慮としてトイレの洋式化などに助成はできないか。
阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なものには助成すべきであるが、約120の団体すべてに補助金が必要なのか。
宮田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・無駄な補助金もあるのではないか。補助金の削減は、市民から声をあげるべきであり、市民団体には理解してもらう必要がある。
阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市職員は、率先して動く事が出来ないのか。そのような体制では行政改革もできない。一生懸命取り組んでいる職員もいるが、改善してもらいたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会で取り組んでいる学校再編に向けての基本的な方針と計画については、直近で北河原小学校、須加小学校、荒木小学校の3校を3年以内に小中一貫校として見沼中学校へ統合する予定である。太田東小学校については、3年以内に太田西小学校へ統合し、星宮小学校についても、3年以内に中央小学校へ統合する予定である。 ・補助金については、数多くの団体に交付されており、団体の中には補助金がないと成り立たない団体もあるかと思う。今後も、団体の運営に対する補助と事業に対する補助が重複していないかなど、引き続き見直しを行っていく。 ・公民館の光熱費については、以前から阿久津会長より提案を頂いているなかで、平成29年10月に全庁的に使用料等の見直しを行ったところである。5年毎に見直すことともしており、今後、使用料の免除や減免の取扱いについても併せて検討していく。 ・自治会集会所の改修については、内容に応じて市が費用の2分の1を補助している。トイレの水洗化や畳の張替など、補助の対象外となるものもある。 ・職員の対応については、頂いた意見を人事課と共有し、職員数を減

阿久津会長	<p>少させているなかでも、行政サービスの質を落とす事のないよう取り組んでいきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域公民館の修繕に要する年間予算が500万であると聞いている。500万円で何ができるのか。例えば、エアコンの不具合など、必要な修繕を精査した際に、予算不足から修繕を次年度以降に見送っている事例もある。予算を減らせば良いというものではない。 ・市役所職員の対応が悪いと聞く。今後指導していく必要があり、改善してほしい。
香川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3年後を目途とした学校の再編について、世代によって意見の相違があり、諸事情も違う。現在説明会を行っているが、3年間で調整が整うのか疑問である。学校に対する愛着や思い入れが強く、理解を得る事が難しいといった問題もある。
阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の再編については、色々な意見があるが決断をすることが大切である。判断が出来ず結論も出ないまま時間ばかり過ぎているのではないか。理解を得られるように努力すべきである。
大野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、子ども達への教育として何が出来るのか。少子化が進行するなかで、未来に向けて何が出来るのか考えてほしい。子ども達がどのような教育のもと未来をつくっていくかが重要である。
高橋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒主体で考え、未来を担う子ども達に一番良い事は何かを判断していかななくてはならない。複式学級は、個々の学年で出来る事が出来ない状態であり、教師も大変だと考える。このことから学校の統合は子ども達にとって良いことだと思う。
阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・統合されると通学が大変との話を聞くが、スクールバスを整備すれば、安心して通学できるのではないか。
茂木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校とは、どのようなものなのか。
香川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校のメリットとして、中学校1年生ギャップの解消が挙げられる。具体的には、中学校を核とした校舎分離型または同一校舎による小規模小学校の統合によるもの、そして一人または二人の校長を配置するといった説明を聞いている。児童生徒数が減っていくなかで統廃合は避けられないのではないか。市民の皆さんの理解を頂ければと思う。

阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の窓口対応等について、先進自治体ではA I やR P Aを活用して、事務量の軽減を図っている。それにより人（職員）でなければ出来ない行政サービスを向上させようと取り組んでいる。茨城県つくば市や埼玉県内ではさいたま市が推進している。行田市も働き方改革を含めて積極的に取り組み、業務量を削減しながら市民サービスの向上を図るべきだと考える。 ・ 組織力や財政力の向上に資する取組において、進捗が遅れている取組の原因は何なのか。委員会のなかで解明しながら改善していく必要があると考える。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の進捗が遅れている取組のうち、市内循環バスの有料広告の見直しについては、昨年度制度を改め、広告収入の増加に繋がったところである。 ・ 公共施設への自動販売機設置における入札制度の導入については、他の自治体において、新たな財源の確保として市に納める貸付料及び売上げの一部を対象に入札を実施している事例が多く、現在、県内の市に対して実施状況を照会しているところである。 ・ その他の遅れている項目についても、遅れている原因を検証し、推進していく。
阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札制度について、県の登録制度と連携したことにより、市は県の登録情報を全て共有しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埼玉県電子入札共同システムの活用実態については、契約検査課に確認し、後日回答させていただく。 ・ A I ・ R P Aについては、新たな行財政改革の取組の一環として、改革推進室及び情報政策を担当する広報広聴課にて検討を進めているところである。
阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政からの自治会回覧文書が多すぎる。削減できないのか。自治会が作成しているものを併せるとかなりの量となっている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治会の負担が軽減されるよう、市報や回覧文書をはじめとした広報のあり方について検討していく。
宮田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回覧を待っている方もいる。色々な立場や考え方があり、難しい問題だと思う。

阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局は、これらの意見を踏まえ、今後の取組強化や新たな取組項目の位置付けなど、さらなる行財政改革を進めていただきたい。 ・次に議事の（２）「その他」について、事務局から何かあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日報告した取組実績の主なものについて、市報８月号にて市民へ周知するとともに、とりまとめた取組実績を、今後、市ホームページにて公表する予定である。 ・本日頂いた意見を今後の行財政改革の取組に反映していく。
阿久津会長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上をもって、本日の議事を終了する。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局としても皆様からの意見をもとに今後の行財政改革に取り組んでいく。 ・以上をもって、令和元年度第１回行田市行政改革推進委員会を終了する。 <p>4 閉会</p>